



社会福祉法人 三愛学園

児童養護施設 さんあい  
一時保護所 オリーブ男女  
自立援助ホーム 三愛子ひつじ寮

## 令和5年度事業報告

**【法人理念】 神を愛し 人を愛し 土を愛す**  
**【養育目標】 思いやりのある子**

# 令和5年度事業報告

## 理事長総括

新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが令和5年5月8日をもって2類から季節性インフルエンザと同等の5類に移行されました。これによって子どもたちと職員の生活も徐々に通常に戻っていきました。勿論、安全・安心な生活を守るためには、感染症の予防や感染者が出た後の迅速な対応を怠ることはありませんでしたが、職員の精神的負担は大いに軽減されたと思います。本園や一時保護所、自立援助ホームの活動も通常通り計画され実施されました。また、4年ぶりにフルスケールで開催した法人創立記念祭（さんあいまつり）は、500名以上の参加者があり近年では最大規模となりました。コロナ禍1年目の恐怖と緊張、そして厳しい行動制限の時期を思えば、本当に感謝な1年だったと思います。

職員の動きといたしましては、コロナ禍が一区切りついたと同時に様々な理由で例年より離職希望者が多く出ました。幸い年度中に補充に必要な人材を確保することができ安心いたしました。法人に就職した職員へのアンケートによると、待遇や職場環境を上げる人が多くいます。これは職員確保を進める上で大切な要素です。令和5年度より、理事会の承認を得てリフレッシュ休暇を年間12日から16日に増やしました。これにより年間公休数を120日にすることができました。120日は保育士として就職活動する学生さんが希望する最低ラインだそうです。熱意ややりがいだけで、児童福祉の仕事にアピルすることは困難な時代です。それらのものは仕事を体験してみて、個人の心に湧いてくるのが自然で、最初から入職条件にはできません。子どもたちとの生活体験や研修や指導の中で、熱意・やりがいを持ってもらうようにするのは、入職後の職員育成だと考えています。育成が適切に実施されれば離職率を抑えられると考えています。

児童の様子としては、児童養護施設さんあいでは、家庭復帰で2名、高校を卒業して1名が退所いたしました。年間を通して36名の定員は充足状態でした。これは相変わらず県内には施設入所や一時保護を必要としている子が多いこと、さんあいは、常に定員一杯まで受け入れる職員体制が整っていることの2つの側面の現れだと考えています。一時保護所オリーブは男女それぞれ6名の定員で、年間を通して満床ではなく5名前後の状態が長かったと思います。これは熊谷児童相談所内に30名定員の一時保護所ができた影響だと分析しています。同様に、自立援助ホーム子ひつじ寮では年間平均すると定員9名に対して7名前後の利用者児童の時期が長かった状況です。これは県南部に新たなホームが複数設置された影響があったと分析しています。トウヨコキッズに象徴される中・高校生の要保護児童が県内で増加している状況があり、令和5年度はこれらの高齢児童を受け入れてしっかりとした支援のできる自立援助ホームのニーズが急速に高まりました。また、児童養護施設と自立援助ホームでは、福祉法の位置づけと枠組みは異なりますが、実態的にはその役割と機能が近づいてきている状況です。

最後に個人の感想ではありますが、法人全体の令和5年度を振り返りますと、楽しいことより困難なことの方が多かったような印象を持っています。しかし何とか乗り切ることができたのは、職員の献身的な働き、関連機関のご協力、そして子どもたちの頑張りに他ありません。また、戦争や大きな災害から守られて法人全体を運営できたのは、神の恵みによるものと確信し、感謝の気持ちに満ちています。ありがとうございました。

社会福祉法人三愛学園 理事長

高瀬 一使徒

# 令和5年度事業報告

## 1. 児童養護施設さんあい施設長総括

### 平本施設長

2023年5月、ようやく新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、子どもたちの生活や活動が以前の姿に戻り始める1年となりました。コロナに罹患した者の数は、子どもも職員も過年度に比べると格段に減少しましたし、何より濃厚接触者という考え方がなくなり、罹患患者との接触があっても症状がなければ周囲に気を付けながらではありますが行動制限がなくなったことは、職員の勤務体制を組むうえで朗報でした。施設内外の行事も以前のように行うことができるようになり、マスクを外した子どもたちの笑顔を見られるようになったことは本当に感謝でした。

児童の動きとしては、本園では年度末に高校を卒業し就労のために1名が卒園していきました。年度途中にも2件の家庭引き取りと1件の措置変更がありました。すぐに新しい児童が入所をしてきて、年間を通して定員いっぱいの運営を行いました。

一時保護所オリーブについても、年間を通して男女共定員に近い利用がありました。男女のきょうだいケースの受け入れも複数ありました。高止まりの傾向にある埼玉県内の一時保護ニーズに、ほんの一部ではありますが応えることができているのはひとえに職員の奮闘によるものです。

行動制限緩和を受けて、今年は4年ぶりに創立記念行事である「さんあいまつり」を外部のお客様を招き、以前の規模で実施しました。コロナ過で様々な行事が中止、自粛を迫られた中でも物心両面において法人の活動をご支援いただいた皆様に、施設へお越しただいて感謝を表す機会ともなりました。

そのさんあいまつりの準備を始めた際に、半数を超える職員が創立記念行事を経験したことがない事実気づきました。長かったコロナ過の影響ともいえます。養育目標である「思いやる子」を育てることは施設内だけで達成できるものではありません。卒園した子どもたちが暮らすのは地域社会であり、そのために在園中からの施設外の方々と交流をすることは肝要です。これから、また地域の方々との触れ合い、交流の中で子ども達の成長を見守っていければと願っています。

私、個人としては施設長就任1年目、学ぶことの多い1年でした。また子どもの権利擁護については反省を求められる事案がありました。埼玉県内にはさんあいを含めて22の児童養護施設があります。それぞれが理念を持ち、特色のある養育を行っています。高瀬美武初代園長がまとめ役となって始められたそれら施設との横のつながりも、さんあいにとって大切な社会資源であることを実感しました。前施設長や他施設の教訓から学び、改善につなげていきたいと思えます。

令和6年度からはあらたに地域小規模を開設、女子ブロックから1ユニットがそこに移動。分園として新たな取り組みを始めます。国も方針として打ち出す、地域の中でより「家庭的」な環境を子どもたちに提供する流れに沿ったものです。新たな挑戦に子ども達、職員ともども期待に胸を膨らませています。



# 令和5年度事業報告

## 2. 入退所児童データ（高柳FSW）

### ① 入退所児童数（R4. 5. 1～R6. 3. 31）

月	措置入所					一時保護			
	在籍数	入所	入所理由	退所	退所理由	一時保護	一時保護理由	一時保護解除	一時保護解除理由
4	36					0		3	家庭引取 3
5	36					5	ネグレクト 4 身体的虐待 1	0	
6	36	1	心理的虐待 1	1	自援入所 1	6	養育困難 3 身体的虐待 3	4	一保移動 1 家庭引取 3
7	36					2	身体的虐待 2	2	家庭引取 2
8	36					1	身体的虐待 1	0	
9	36	1	ネグレクト 1	1	家庭引取 1	2	ネグレクト 1 不適切養育疑い 1	4	一保移動 1 家庭引取 1 施設入所 2
10	36					3	身体的虐待 2 養育困難 1	1	家庭引取 1
11	36					1	身体的虐待 1	1	家庭引取 1
12	36					3	養育困難 2 身体的虐待 1	4	家庭引取 3 施設入所 1
1	36			1	自援入所 1	2	身体的虐待 1 ネグレクト 1	1	家庭引取 1
2	35	1	ネグレクト 1			0		2	一保移動 1 施設入所 1
3	36	3	身体的虐待 2 乳児院 1	3	家庭引取 2 GH入所 1	6	養育困難 2 身体的虐待 1 心理的虐待 3	7	一保移動 1 家庭引取 2 施設入所 4
合計	431	6		6		31		29	

### ② 退所先別（R5. 4. 1～R6. 3. 31）

退所先	男の子ブロック	女の子ブロック	一時保護ユニット
家庭	2	1	17
里親委託			
進学			
就労			
自立援助ホーム	1	1	
措置変更(施設、GH)		1	8
一時保護所			4
その他			
合計	3	3	29

# 令和5年度事業報告

## ③ 年齢別在籍児童数 (R6.3.1)

	幼児				小学生						中学生			高校生			合計
	未 満 児	年 少	年 中	年 長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
男児	1	1	1	2	2	2	2	1		1	1	1	3		1		19
女児	1	2	1			2	1	1	3	1	1	2		1		1	17
合計	2	3	2	2	2	4	3	2	3	2	2	3	3	1	1	1	36

## ④ 措置理由別児童数 (R6.3.1)

措置理由		幼児	小学生	中学生	高校生
家出	父				
	母				
	両親				
死亡	父				
	母				
	両親				
疾病	父				
	母				
	両親				
離婚				1	
棄児					
虐待	身体的虐待		2	2	1
	心理的虐待	1	2		1
	性的虐待				1
	ネグレクト	1	5	1	
親の精神疾患		3	1	1	
服役					
未婚の母の子		2	3	1	
経済的理由		2	2	1	
里親委託解除			1	1	
その他					
合計		9	16	8	3

## ⑤ 児童相談所別児童数 (R6.3.1)

児童相談所	中央	南	熊谷	川越	越谷	所沢	草加	さいたま市北部	さいたま市南部	合計
男	2	2	3	6	1	4			1	19
女	2	2	5	1	1	3	2	1	1	17
合計	4	4	8	7	2	7	2	1	2	36

# 令和5年度事業報告

## 3. 年間行事（青木統括主任）

行事の種別	期日	実施内容
園内行事 学校行事 (全体)	4月  6月 7月 12月  1月 3月	各学校入学式・始業式、保育園入園式・進級式  入園入学を祝う会【通常通り実施】  創立記念祭「さんあいまつり」【通常通り実施・5年ぶり】  ガーデンパーティー【通常通り実施】  さんあい大掃除【通常通り実施】  クリスマス会【通常通り実施】  もちつき・2分の1成人式【通常通り実施】  卒園卒業を祝う会【通常通り実施】  各学校卒業式・修了式
グループワーク 活動	9月 9月 9月 11月 11月 12月 2月 4月	幼児「色水でっぼうでオリジナルTシャツを作ろう！」 小学生「デイキャンプ・野外活動体験 in 奥秩父」 小学生「秩父両神山キャンプ&ウオーターアスレチック」 中高生「鬼退治」～幼児・小学生を楽しませよう～ 中高生「ボランティア体験」～深谷西島教会大掃除ボランティア～ 幼児「クリスマスリース&カード作り」～さんあいクリスマスに向けて～ 全体「さんあいビンゴ大会」～支援者の方々に感謝を込めて～ 小学生「いろいろ餃子コンテスト」(※3月延期となり4月に実施)
カフェさんあい ボランティア		その他、ボランティア講師による「ヒップホップ・ダンス・レッスン」(年間計12回)、「ピアノ・レッスン」(年間計20回)を実施。個別、グループを対象にした学習ボランティアも通年で実施
招待関係 地域行事 深谷西島教会 高校生自立支援 セミナー等	4月 5月 6月 7月 8月	深谷西島教会「イースター復活祭」(小学生、職員) 安藤農園様「いちご狩り」御招待(小学生、職員) 深谷西島教会「花の日礼拝」(小学生、職員) 深谷七夕祭り・子ども神輿参加(小中高生、職員) NHKエデュケーショナル様「おかあさんといっしょコンサート」御招待(幼児、職員)

# 令和5年度事業報告

<p>(施設又は部屋 で対象児童を調 整)</p>	<p>10月 2月</p>	<p>むさしの村様「社会福祉貢献事業」御招待(幼児、小学生、一時保護児童、職員)</p> <p>吉本興業様「お笑いライブ交流イベント」(小学生、職員)</p> <p>児童養護施設はなこみち祭りご招待(幼児、小学生、職員)</p> <p>岡部コスモス祭り</p> <p>深谷西島教会「子ども祝福式」(小学生、職員)</p> <p>一般社団法人コンパスナビ「さいたま子どもキャンプ」(中学生、職員)</p>
<p>櫛挽子供会行事 (小学生対象)</p>	<p>4月 7月 8月 9月 12月 3月</p>	<p>顔合わせレクリエーション(櫛挽グランド)</p> <p>七夕祭り飾り作り(地域婦人会合同)【通常通り実施】</p> <p>櫛挽夏祭り(地域自治会行事)【通常通り実施】</p> <p>岡部地区体育祭【中止】</p> <p>クリスマス会【通常通り実施】</p> <p>歓送迎会・総会(新一年生も参加)【通常通り実施】</p>
<p>各部屋行事(特別 外出・宿泊行 事)</p>	<p>8月 8月 8月 8月 8月 10月</p>	<p>ねむのき(茨城県): スパリゾートハワイアンズ、リカちゃんキャッスル等</p> <p>いちょう(茨城県): アクアワールド水族館、城里ふれあいの里等</p> <p>ぼぶら(栃木県): 那須ハイランドパーク、那須動物王国等</p> <p>もみのき(山梨県): しのびの里、山梨県立リニア見学センター等</p> <p>かしのき(福島県): 猪苗代湖湖水浴、いなわしろカワセミ水族館等</p> <p>ひのき(栃木県): 那須動物王国、NOZARU等</p>
<p>(部屋外出・個 別外出行事)</p>	<p>通年</p>	<p>国営武蔵丘陵森林公園、いちご狩り、たくみの里、渋川スカイランドパーク、あそびぱーく PLUS 高崎、あしかがフラワーパーク、スマーク伊勢崎、映画館、東武動物公園、世界の名犬牧場、日本科学未来館、パティオプール、アクアパーク品川、プラネタリウム、ポケモンセンター、東京スカイツリー、農林公園、池袋サンシャインシティ、国立科学博物館、鉄道博物館、キッズニア東京、埼玉県立川の博物館、ラウンドワン、群馬県立自然史博物館、東京あそびマーレ、川越水上公園プール、アニメイト池袋本店、うんこミュージアム、東京ジョイポリス、イオンモール、コスメリメイク新大久保、初詣、キッズランド US 熊谷、本庄総合公園、サンシャイン水族館、SanrioCUTECUBEHARAJUKU等々</p>

# 令和5年度事業報告

## 4. 職員研修実績（青木統括主任）

主催団体・機関	研修会内容
教育局、深谷市	児童虐待防止支援研修（平本施設長）、深谷市虐待防止講演会（青木看護師）
県社協	チームリーダーキャリアパス研修（野口L、鈴木L、雑賀L、山本L、神戸L）、社会人常識とマナー（新井C、賣野C、加藤小C、久保田C、鈴木C、上田C、杉浦C、千葉C）、子どもの感染症対策研修（青木看護師）
全養協	全国児童養護施設中堅職員研修（山口C、岩崎C）、全国施設長研修会（平本施設長）
埼玉協 埼玉研	施設長県外視察研修・京都（平本施設長）、心理職研修（天田心理士）、施設間職員派遣研修（野口L、鈴木L）、埼玉県児童福祉施設中堅職員研修（山口C、成田C、大谷C）、埼玉県児童福祉施設指導者研修（山口C、成田C、大谷C）、調理関係研修（坂田栄養士、新井C）、新任職員研修全3回（上田C、杉浦C、千葉C、加藤主任）、2年目職員フォローアップ研修（新井C、賣野C、加藤小C、久保田C、鈴木C）、3年目ステップアップ研修（中嶋C、菅C、岩崎C、新海C）、4～6年目キャリアアップ研修（雑賀L、神戸L）、施設長マネジメント研修（平本施設長）、児相職員との合同研修（成田C）
関東ブロック	関東ブロック児童養護施設研究協議会（平本施設長） 関東ブロック児童養護施設職員研修会：神奈川（天田心理士、坂田栄養士、坂本FSW）
その他	里親会研修（野田里SW）、キリスト教児童福祉連盟子育てワークショップ（奥木L）、共助会メンタルヘルス動画研修（平本施設長、青木看護師、神林C、矢島C、釜谷C）、埼玉研性教育セミナー（天田心理士、山口C、上田C）、西日本あかし一時保護所指導者研修（釜谷C）、全国若者自立支援プロジェクト関東ブロック会議（青木統括）、フェアスタート児童養護施設と企業の交流（青木統括）、埼玉子どもを虐待から守る会セミナー（鈴木L）
施設内研修 主催セミナー 講演会 等	<p>* 施設内職員研修 さんあいスーパーバイザーである櫻井奈津子先生による園内研修</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 4/19（水）「新任職員研修」1年目 4名参加</li> <li>② 5/24（水）「一時保護所職員研修」オリーブ職員、FSW、統括 8名参加</li> <li>③ 6/21（水）「自立援助ホーム職員研修」子ひつじ寮職員 5名参加</li> <li>④ 7/12（水）「中堅職員研修」2～4年目職員 16名参加</li> <li>⑤ 8/30（水）「リーダー職座談会」本園リーダー職 6名参加</li> <li>⑥ 9/20（水）「オリーブ男子ケースカンファレンス」オリーブ職員、FSW、統括 8名参加</li> <li>⑦ 11/15（水）「近隣施設1年目合同研修」4施設新卒1年目職員 10名参加</li> <li>⑧ 1/17（水）「子ひつじ寮ケースカンファレンス」子ひつじ寮職員 5名参加</li> <li>⑨ 2/21（水）「被措置児童等虐待防止研修」全職員参加</li> <li>⑩ 3/13（水）「男の子ケースカンファレンス」男の子B全職員、専門職、施設長参加</li> </ol>



## 令和 5 年度事業報告

### \*さんあいセミナー

- ① 10/18 (水)「里親支援セミナー」講師：櫻井奈津子先生  
地域の里親さん、施設の里親支援専門相談員等 10名参加

### \*月一学習会

- ①平本施設長、②青木統括主任、③高柳 FSW、④加藤主任、⑤河村主任、⑥奥木 L⑦野口 L、⑧鈴木 L、⑨野田里 SW による学習会を全 9 回実施。職員としての意識、権利擁護、生教育、ペアトレなど、各専門職や先輩職員が経験で得た知見を後輩職員へ伝える場として設けた。

# 令和5年度事業報告

## 5. ケアワーク総括

### ① 女の子ブロック総括（河村主任）

令和5年度は、未満児1名と高校生1名が新たに加わり、幼児4名、小学生8名、中学生4名、高校生2名の計18名の児童と、新任職員1名が加わった13名の職員でスタートしました。年度途中で小学生1名、中学生1名が退所となり、新たに幼児1名と小学生1名が入所。年度途中での入れ替わりもあり、バタバタした時期もありましたが、誰も大きな病気やケガをすることなく1年を終えることができました。

昨年度からメンバー変更なしで始まった「ねむのき」さん。料理や工作が得意で、優しい言葉を掛けてくれる子どもたちが揃いました。特別部屋外出は、福島県のハワイアンズとリカちゃんキャッスルへ。ハワイアンズでは様々な種類のプールの多さに「すごい！」と目を輝かせ、リカちゃんキャッスルではコスプレをしてしっかりポーズを決める子どもたちに、職員も思わず笑みがこぼれました。年度途中で小6児童が退所し、新たにまた小5児童を迎えました。3月には、長年さんあいでも過ごしてきた高3児童が退所。退所前の寂しさを受け止めつつ、当日は「頑張ってるね！」と笑顔で送り出しました。令和6年度は地域小規模となり生活拠点が変更となりますが、これからも家庭的な雰囲気を大切に、沢山の「ありがとう」が飛び交うお部屋を作っていきたいです。



新たに未満児の女の子を迎えた「いちよう」さん。久しぶりの1歳児の受け入れに、年度初めから職員皆が戸惑いました。さんあいまつりでは、一番目立たない端のお部屋であるにも関わらず、職員や子どもたちの呼び込みもあって大盛況。「子どもと職員と一緒に楽しむ」を体感できました。特別部屋外出では、茨城県のアクアワールド、日立市かみね公園へ。BBQやピザ作りも体験しました。年度途中で中学生が退所し、新たに幼児を迎えました。この1年は、保育園や小中学校等の学校や医療機関との連携だけでなく、子どもたちの体調面の配慮やトラブルが起こらないような環境調整等、危機管理意識を高く持つことの大切さに気付かされた1年でした。これからも高いアンテナを持ち、様々な特徴を持った子どもたちが安心安全に過ごせるお部屋を作っていきたいと思います。



新たに高校生1名を迎えてスタートした「ポプラ」さん。今年度は幼児が2名いることで、毎日がお祭り騒ぎでした。そのおかげか、自然と面倒見が良くなる小中高生たち。幼児のわがままも、「しょうがないな、こっ

## 令和5年度事業報告

ちおいで」と言っておいでと一緒に遊んでくれる姿に、職員は何度も助けられました。特別部屋外出では、那須動物王国、那須ハイランドパークへ。動物と触れ合い、美味しいものを沢山食べ、アトラクションに乗り、夜遅くまでカードゲーム…その名の通り、全てが特別な時間となりました。今年度も長期休みには「リビングで雑魚寝」を実施しました。そんなポプラさんは、絵が上手な子、工作が得意な子、運動神経抜群な子…と様々な個性を持つ子どもたちが集まっています。これからも一人ひとりの個性が輝くよう、様々な機会を作っていきたいと思います。



令和5年度は、今まで中止となっていた行事が再開された1年でした。今まで我慢していた子どもたちの「やりたい!」をできるだけ叶えようと、職員もできる限りの力を尽くしました。楽しいことも沢山ありましたが、子どもたちの対応で悩んだことや疲弊したことも沢山ありました。どのような支援が子どもたちの安心安全な生活に繋がるのか、最善の利益に繋がるのか…と職員皆で頭を抱えることもありました。私たちが思っている何倍もの速さで子どもたちは成長しているので、私たち職員も現状で満足せず、日々アップデートしていかなければ、と気付かされた1年でした。

子どもたちの特徴も年々変化してきており、職員一人ひとりのスキルアップだけでなく、チームで養育をしていく「チーム力の向上」が求められていると感じます。発達障害を持つ児童への対応、外部機関との連携、社会資源についての知識など、専門職としてのスキルを身に付けていくことと並行して、子どもたちと一緒に養育していく職員同士の日々のコミュニケーションを大切に、丁寧にしていきたいです。

女の子ブロックとしては引き続き、日々の生活を大切にして、子どもたちに「自分は大切にされている」と感じてもらえる養育を目指していきたいと思います。

### ② 男の子ブロック総括（加藤主任）

昨年度末に高校を卒業した2名が退所になったことで、未満児男児と小1男児を受け入れて今年度のスタートを切りました。しかし、昨年度末に施設内で不適応を起こしてしまった高1男児が6月に自立援助ホームに入所となったことでさんあいを退所しました。そこで、新たに小4男児を迎え入れて再スタートを切りました。

ここ数年、さんあいでは高齢児が退所すると、新たに低年齢児を受け入れる流れとなっています。そこで今年度の児童構成は、男の子ブロック在籍児童の3分の2が小学生以下となりました。毎日のように日中は子どもと職員の賑やかな声が響き渡り、夜になると日中の騒がしさが嘘のように静まり返る日々でした。



## 令和5年度事業報告



今年度、進路を控えていた中3男児が3名いましたが、内2名は精神面の体調を崩し、1学期～夏休みにかけてそれぞれ入院をすることとなりました。退院後は、各々の体調に合わせた生活が送れるよう関係者とも協議を重ね、進路については、さんあいとしては初めてとなる通信制高校と定時制高校への進学を決めました。残りの男児1名は在籍していた支援学校中学部から高等部に進学しました。

年度末には小2男児と小4男児が家庭復帰することになり、子どもたち職員そろって別れの挨拶を交わし、送り出しをしました。さんあい在園中は、毎日のように喧嘩をしたことも、振り返ってみたら大切な思い出の1つとなります。いつもいた仲間が目の前からいなくなることへの寂しさを涙で表現する児童もいました。職員としては、必要な準備が整えられ、家族のもとへ送り出せたことは、それまでの苦勞が報われる喜びの瞬間でもありました。

さんあいでは生活をする子ども達が入所に至る経緯は様々で、入所中から退所に至るまでの状況もそれぞれ異なります。全員が家庭復帰する訳ではなく、新しい居場所、人とのつながりを見つけ、巣立っていく子たちもいます。日々子ども達とのかかわりの中から、最終的にその子にとっての最善の利益が何かを考えて選択ができるよう支援をしていけたらと考えています。



### ③ 一時保護所「オリーブ」

男の子オリーブが開設し2年目に入りました。新年度になり新たに受け入れた児童の人数としては18名と昨年度と比較して少ない結果となりました。女の子オリーブと合わせても31名でした。児童の保護期間が長期になるケースも多かったことが主な要因といえます。また、兄弟姉妹ケースの受け入れも5件あり、施設内でもきょうだいでだけの外出を行なうといった家族のつながりを意識した取り組みも積極的に行いました。

昨年度は、外出も多く計画し、保護される前の家庭では経験したことが無いことなどに触れる機会を得た児童もいました。また施設内保護所である強みとして、本園の施設行事にも参加し、季節や文化を感じる体験もできました。



保護委託される児童の多くが、心理面や発達など複合的な課題を抱えています。そのような子どもたちにとって安心・安全を感じる事のできる空間を作るよう努めるとともに、オリーブを退所した後に適切な養育が受けられるよう、課題を見抜き、支援に活かすアセスメント力の向上も図っていきます。

(男の子オリーブ・加藤ケアワーカー)

## 令和5年度事業報告

児童の入退所により、児童間の関係や職員の関係も日々、変化していきます。今年度は例年よりも保護期間の長い児童が多く、その関係性も変化の少ない1年となりました。他方、入所期間が長くなり、生活に慣れてきたからこそ出てくる、見えてくる問題も多くありました。保護期間中は学校への登校や外出が制限されます。その制限のある中で子ども達から出てくる課題もあります。

登校や外出が自由にならないことが「日常」となっている子どもたちにとって、久しぶりに開催されたさんあいまつりやガーデン・パーティー、クリスマス会といった行事に参加することはより特別なものです。買い物や近隣へのお出かけ、外出も同様です。本園の子ども達は夏の特別外出やグループワークに参加する機会がありますが、保護中のオリーブ児童にとっては予定をされた行事ではありません。そこで、遊びや社会性を身に着けることも大切な権利ととらえて男女オリーブ合同での川遊びや海への外出、修学旅行に行くことができなかった小学校6年生だけを対象に公共交通機関を使つての鎌倉への一日小旅行も実施しました。



子どもと職員の良い関係が構築され、遊びや勉強などに日々取り組む中で、子ども達から職員へ個別で家族のこと、学校のこと、他の人には言えない我慢していたことを話してくれたり、言語化できないけど、その児童なりに気持ちを伝えようとしてくれたりします。これからも、そのような安定した関係性が構築できる場所として取り組んでいきます。

(女の子オリーブ・小暮リーダー)

### ④ グループワーク (青木統括主任) ※活動内容は年間行事一覧参照

幼児、小学生、中高生ともにグループワークだからこそ体験できる内容を企画。子どもたちと職員が協力し、達成感を味わえる活動となりました。白いTシャツを着た幼児が、水鉄砲で色水を掛け合って染めたTシャツを作る活動は、想像以上にきれいな模様が描け、その後もお気に入りのTシャツとして着ている子もいます。中高生は昨年につき「誰かのために」という気持ちを大切に考え、幼児～小学生を楽しませるための「鬼退治」と、日ごろの感謝を込めて「教会大掃除ボランティア」を実施。活動を終えて「楽しかった!」「ありがとう」「助かるよ」という言葉をいただき、中高生にとって自己有用感を高める機会になりました。



# 令和5年度事業報告

## ⑤ 里親支援活動（野田里親支援専門相談員）

「夏みかん」とは、里親とさんあい児童との交流を深め、さんあい「ふれあい家族」(※)の登録者を増やす関係形成の場、また未委託里親の子どもとの関わり方スキル向上のための機会提供を目的とした活動です。今年度も寄居町風布の「やまき園」を会場として様々な活動を実施しました。

※さんあい「ふれあい家族」：週末や長期の休みの期間に児童に家庭体験をさせていただける里親の事



実施日	内容	人数
4月23日	シイタケ狩り、下りハイキング、おたまじゃくし探し	園児・職員13名、里親子(未8名) ボランティア1名、合計：22名
6月25日	沢遊び、バター作り(食パンであんバター)	園児・職員13名、里親子(未10名) 合計：23名
8月27日	沢遊び、レトルトカレーライス、白玉(あんこ、きなこ)スーパーで買い物	園児・職員14名、里親子(未2名) 合計：16名
11月13日	みかん狩り、みかんジュース作り、ゲーム交流 レトルトカレーライス	園児・職員13名、里親子(未9名) ボランティア1名、合計：23名
1月28日	ポテトサラダ作り、レトルトカレーライス、完熟みかんジュース作り、駄菓子屋さんまで散歩	園児・職員9名、里親子(未)10名 合計：19名
3月12日	うどん作り、ふきのとう収穫体験、ふきのとう天ぷら、駄菓子屋さんまで散歩	園児・職員14名、里親子(未)11名、 ボランティア3名、合計：28名

### 埼玉県里親支援専門相談員連絡会活動

児童相談所・里親会・他県との意見交換	研修を通し各団体との関係性を深めた	4回
里親制度啓発活動	市町村で行われた福祉祭りに参加	5か所(8月～10月)
広報誌発行	里親に向けた広報・施設職員に向けた広報	2回

### 熊谷児童相談所管轄内啓発活動(管轄内の施設と児童相談所が実施)

里親制度啓発活動としてパネル展示	市町村の庁舎、文化会館、図書館にて展示	16市町村 ※熊谷児童相談所管轄内すべての市町村にて実施
広報誌への掲載依頼 ホームページ掲載の依頼	市町村に掲載原稿案を作成し依頼	里親制度についての説明を市町村担当者に分かりやすく掲載していただいた
熊谷児童相談所との意見交換	パネル展示原案・市町村広報原稿案の確認	児童相談所から里親委託状況の正確な情報を得た。
里親制度対面説明	市町村の民生委員に里親制度について説明	パネル展示を実施した市町村のうち7か所で実施

# 令和5年度事業報告

## 6. 各タスクチームの活動報告

### ① 広報タスクチーム（松本事務長）

#### 【成果】

- ・ さんあい新聞を今年も4月、6月、10月、1月の年間4回発行することで、さんあいや子ひつじ寮のいまの様子を外部に発信することができました。そのことを通して理解者、支援者への報告となると共に、卒園生に対しては施設との関係維持にも寄与しています。
- ・ 今年もさんあい新聞は毎号500部以上を送付しています。徐々にではあるが送付先も増えており、支援者の拡大に貢献しています。新聞の内容を見て、金品の寄付をくださる方もおり感謝です。
- ・ 市内のお店に置かせていただいている募金箱の回収を行い、たくさんの募金をいただいたことを確認、感謝を持って受け取りました。
- ・ ホームページの大規模なリニューアルを行いました。また、定期的にブログの更新を行う事により、活動への興味、関心を持つ人への発信、見学希望者、採用希望者、ボランティア希望などの問い合わせの増加につながっています。  
また、ホームページからさんあいを知ったサントルギーニ、Vユーチューバーの方からの寄付なども継続しており、クリスマス等、さんあいの子どもの状況をみながらプレゼントや寄付を届けて下さいました。
- ・ 支援者の方や、施設に暑中見舞いや年賀状を出すことができました。



#### 【課題】

今年度の成果を踏まえ、次年度は以下が取り組みの課題と考えています。

- ・ さんあい新聞をさらに読みやすくするための工夫、またタイムリーに話題を情報発信する方策
- ・ 募金箱の回収に行く時間を確保し、支援をしてくださる方々との良好な関係を維持するための取り組み
- ・ 郵便料金の値上げも視野に入れつつコスト削減に努め、現在のさんあい新聞発行ペースを維持する方策

### ② 食育タスク活動報告（坂田栄養士）

#### 【主な活動内容】

- ・ エコの日、キッチン点検の実施
- ・ 行事食の計画
- ・ 嗜好調査、栄養指導
- ・ 食に関する情報の発信
- ・ 衛生管理

# 令和5年度事業報告

## 【成果】

- ・ エコの日、キッチン点検を毎月実施できました。
- ・ キッチン点検では、タスクメンバーと巡回することで、新たな気づきも多くありました。
- ・ 職員向けに食事の盛り付け方についての講習会を実施し、意識づけをしました。
- ・ さんあいレストランを実施し、子どもたちに喜んでもらえました。
- ・ リクエストボックスをリニューアルし、投函が増えました。
- ・ 栄養指導として、手洗いチェッカーを使用し、手洗い指導を実施しました。

## 【課題】

- ・ エコの日、行事食の記録(写真)の撮り忘れがないようにリマインドを忘れずしていきます。
- ・ 職員、子ども達が楽しめる食事の提供をめざし、より良い食事作り、食育をしていきます。
- ・ 食に関する情報の発信を強化します。

## ③ 職員研修・チュータータスクチーム（青木統括主任）

### 【主な活動】

- ・ 櫻井SV 園内研修 全11回実施（※園内研修実施表参照）
- ・ 他施設視察
- ・ 月一学習会 全9回実施
- ・ 施設内他ブロック体験（1年目職員対象）
- ・ チューター活動（1年目職員対象）→ 毎月の振り返りシート、食事会、学期ごとの面接

### 【成果】

- ・ 櫻井SVの園内研修は全体、新任、中堅、リーダー職、一時保護所職員、自立援助ホーム職員などに分けて実施。現場経験も豊富な先生なので、率直な見解だけでなく、現場ケアワーカーの苦悩に共感しながら個々の課題に向き合える時間を上手に作っていただきました。肯定的な部分でも自分の頑張りや強みを知る貴重な研修となりました。
- ・ 他施設視察では1年目職員は「泰山木のある家」、2年目職員は野口Lの月一学習会の中で「はなこみち」、中堅及びリーダーは建て替えをした「雀幸園」、専門職は茨城県にある「誉田養徳園」の視察をしました。誉田養徳園の地域分散型GHを増やした自立支援専門員の複数配置や里親支援センターのように先進的な取り組みもあり、自施設との比較の中で多くの学びを得る機会となりました。
- ・ 月一学習会は①平本施設長、②青木統括主任、③高柳FSW、④加藤主任、⑤河村主任、⑥奥木L、⑦野口L、⑧鈴木L、⑨野田里SWの全9回を実施。内容は、各先輩職員の知見に基づき後輩に伝えたいテーマで実施。組織全体のスキルアップを目指しました。
- ・ 毎年恒例の他ブロック体験は、同じ施設内でも子どもが違えば必然と対応も異なり職員の動きも変わることを経験できる場です。体験をした職員にとっては、自身のキャリアプランを考える上でも貴重な体験となりました。
- ・ 新卒の新任職員3名に対して、1年間、専属の先輩職員とペアを組んでのチューター活動を実施しました。具体的には、新任職員に毎月の振り返りシートを記入してもらい、チューターから助言を行う、というものです。この他、学期ごと年3回の面接を実施。上司ではなく悩みを相談しやすい先輩との面接により若



# 令和5年度事業報告

手職員のメンタル状況や仕事上の不安の把握とサポートに繋がりました。他施設職員と合同のBBQやメンタルヘルスとしての日帰り旅行（TDL）なども企画し、お互いを知る機会になりました。

## 【課題】

- ・ 櫻井SVによる園内研修を毎月実施した。他方、月一学習会や会議等、毎月、毎週実施することも多く、時間の調整や確保が難しかった。研修を受けた職員一人一人が研修の内容を消化、PDCAサイクルを実践するためには、来年度は回数を減らすなどして質の向上を図ることは検討に値する。

## ④ 生教育タスクチーム（天田心理士）

子どもたちに“大切にされている”と感じてもらえるように、生教育では例年“境界線”を大切にしています。今年度も例年通り、“境界線”を中心にしながら以下の取り組みを実施しました。

### 【取り組み】

#### ① トイレ新聞発行(年5回)

5月：気温と服装・身だしなみ

7月：汗について

10月：いいタッチわるいタッチとプライベートゾーン

12月：ふわふわ言葉とちくちく言葉

3月：境界線

#### ② クールごとのドラマ・アニメの内容のチェック(年4回)

#### ③ 個々の課題に応じた個別の生教育の実施

- ・ 「CIRCLES」(距離感と関係性)
- ・ 洗体・洗髪
- ・ マスターベーションについて
- ・ 体の変化と射精について
- ・ 体の変化と月経について(生理用品や下着の話含)
- ・ 第二次性徴、妊娠、避妊、性感染症について

#### ④ 年代に応じたグループプログラム

- ・ 幼児：プライベートゾーン、境界線、男女の体の違い、こころとからだの守り方
- ・ 小学生低学年：プライベートゾーン、境界線(考え、価値観)  
男女・大人と子どものからだの違い、こころと身体の守り方、いいところ探し
- ・ 小学校高学年：プライベートゾーン、境界線(考え、価値観)、情報リテラシー、思春期について
- ・ 中高生：プライベートゾーン、思春期のこころと身体の変化、ネットリテラシー、身だしなみ
- ・ 一時保護ユニット：パーソナルスペース

#### ⑤ 児童間の関係性チェック(年2回)

#### ⑥ 入職前研修(生教育タスクの活動・生教育とはなにか)

#### ⑦ 毎月の居室内での境界線・プライベートゾーンの約束の確認

#### ⑧ 女兒の生理日の記録



# 令和5年度事業報告

## 【成果】

- ・ 体のことについて相談しやすい環境を作ることができました。
- ・ 以前に比べて個別の生教育の実施も増え、その子に必要な支援を行うことができました。

## 【課題】

- ・ プライベートゾーンや境界線について、守るべきものという認識はあるが、なぜ守らなくてはならないのかということはまだ十分に理解できていない児童が多いです。元来の“大切”という感覚の少なさもあるので、日々の生活の中での生教育を中心に“大切なもの”という感覚を育てていきたいです。
- ・ 性教育に関して社会的な関心も高まってきています。利用できるツールも増えてきているので、それらを取りサーチをして活用できるツールを入手したり、外部の性教育関連の研修にも積極的に参加していきたいです。

## ⑤ 子どもの権利擁護タスクチーム（高柳 FSW）

### 【成果】

- ・ NPO 法人 CAP くれよんに協力をしていただき、さんあいの児童を対象に CAP プログラムを実施しました。内容は、キーワードである【安心、自信、自由】について、各年代別、児童別の理解力に合わせて演習を交えて学ぶ、というものです。事前に職員に対しても職員用のプログラムを実施していただき、実施後も児童と職員が CAP の目指す権利の考え方について共通認識を持てるようにしていただきました。
- ・ 児童相談所から配布される『子供の権利ノート』について、改めて内容を確認する場を設定。子どもが理解を助けるためのパワーポイントを作成、使用して、子ども自身の権利についての理解を深めました。
- ・ 職員向けの事例検討会を実施しました。子ども達と生活する中で【不適切とは言えないが、「その対応で良いのか？」と感じる対応】を集め、それぞれの対応について検討。【課題レベル】【着眼点】【対応案】について各班で事例検討を実施。その後実施した1日研修内でも事例検討を振り返り、ロールプレイを実施する事で、生活の中での子どもの権利について考えるきっかけとなりました。



### 【課題】

- ・ CAP プログラムについては、年代別に異なるプログラムが用意されていることもあり、3年に1回実施してきました。プログラムを実施しない2年間も【安心、自信、自由】について何らかの取り組みが継続できると良いと感じています。この事業は県の助成を受けて実施してきましたが、年度末にこの助成制度廃止の連絡がありました。今後の事業実施方法については、議論が必要となっています。
- ・ 『子供の権利ノート』を使っただけの子どもの働きかけは毎年継続しています。一方、職員に対しては、そもそもこの冊子がどのような物であるか十分な説明が行えていません。今後、その持つ意味と重要性をどのように職員の意識に定着させていくかは検討課題です。

## ⑥ 療育タスクチーム（神戸リーダー）

### 【主な活動】

- ・ 年3回ずつのプログラム実施
  - （からトレ：身体のトレーニング 7名参加）
  - （ことトレ：言葉のトレーニング 4名参加）
- ・ 療育スポーツ大会（3月開催）
- ・ 長期休みのトランポリン設置
- ・ iPadに療育アプリインストール、管理



### 【成果】

- ・ 言葉のプログラムに参加する児童が4名と少数だったため、子どもとほぼ1対1の対応が可能となり、手厚く対応を行なうことができました。
- ・ 発足当初から療育プログラムの準備運動として使っていた『ゲーチャョキパー』の手遊びを今年度、『キャベツの中から』に変更。なじみのある歌だったので、すぐに覚え取り組むことができました。
- ・ 参加児童の年齢は幼児から小学4年生と幅があったものの、グループ分けをして、能力に適した取り組みを行えました。
- ・ 今年度は、個別の支援プログラムの作成も実施しました。
- ・ 療育グッズを増やし、活動の他にも貸し出しをすることで各ホームでの使用ができるようにしました。



### 【課題】

プログラムが子どもたちに浸透してきたこともあり、意欲を持って取り組む子どもも出てきました。今後は、対象年齢外の児童に向けた個別の支援プログラムも積極的に実施していきたいと考えています。また、療育グッズも年々増え、ある程度数が揃い始めた物も出てきたので、居室でも使用してもらえるよう周知し、子ども達にとって必要な療育を生活の中でも実施していけたらと考えています。

## ⑦ 学習支援タスクチーム（山口）

学習支援タスクでは、今年度も中高生の定期テスト前に学習会を開催し、中高生が落ち着いて勉強に集中できる場を設けました。黙々と勉強する子、わからない所を職員と一緒に確認する子など、それぞれが学習会の時間を有意義に使い定期テストに挑むことができたのではと思います。また今年は小学生の夏休みの学習会の形を変え、「この日までに宿題を終わらせて残りの夏休みを楽しく過ごそう！」を目標に夏休み後半に一日学習会を設定しました。学習会の日にはワークや読書感想文、工作など、それぞれが残っている宿題に取り組み、お昼休憩を挟みながら最後まで頑張りました。いつもと違う環境で宿題ができた事で集中力も増しただけでなく、子ども達が学習会を楽しんでくれている様子も伝わってきました。来年度も参加する子どもたちが落ち着いた環境で意欲的に学習に取り組める場を設定できたらと思います。



# 令和5年度事業報告

## ⑧ アニマルセラピー・タスクチーム（村尾リーダー）

### 【成果】

今年度、達成できた活動は以下の通りです。

- ・ 参加希望を募ったところ、年度初めは12名のメンバーを得て活動を開始できた。
- ・ 狂犬病ワクチン接種実施。動物病院への付添を体験
- ・ ノミ・マダニ・フィラリア駆除薬を年7回実施（動物病院にて血液検査実施→体内寄生虫無を確認）  
投薬当番を決め、忘れずに実施
- ・ 犬、魚、ウサギのお手入れは、月3回で年間36回実施
- ・ 環境整備として、ぶどうの木内の掃除、ぶどうの木周辺の草むしりは定期的に実施
- ・ ボランティアの支援をいただき、犬のトリミング、爪切り等行い清潔を保つ
- ・ アニマルクラブの話合いは、5、8、11、1、2月の計5回実施
- ・ 犬の散歩 10/15（日）、10/22（日）：パティオまでのコース  
3/2（土）、3/9（土）、3/23（土）：小学校までのコース
- ・ お小遣いで自分専用の犬用おやつを購入するためにペットショップに行く
- ・ セキセイインコを譲り受け、飼育を始める
- ・ 犬のためにドッグラン、ウサギのためにラビットランを作る
- ・ メンバーからの要望により、犬とお泊り会を実施、夜の散歩も体験
- ・ 動物愛護フェスティバル参加
- ・ 犬2匹を連れ、ドッグランへ行く
- ・ 動物達のエサの補充のための買い物の付添を体験
- ・ アニマル委員会の発足→メンバーより提案があり、3委員会を作り活動した  
「健康委員会」…動物達の健康に関する情報を紙面にまとめ、園内に掲示  
「広報委員会」…アニマルクラブの活動を紙面にまとめ、園内に掲示  
「お手伝い委員会」…担当職員のお手伝いをする。配布物、掲示物のお手伝い等



### 【課題】

今年度の活動をふりかえり、次年度は以下の課題を検討、取り組んでいく予定です。

- ・ 児童の長期的な参加により、心が安定するよう働きかける
- ・ 動物のお世話を当番制にする事で責任感を養い、他児童と協力する事を学ぶ
- ・ 動物、メンバーを思いやる心、感謝の心を、「ありがとう」の挨拶から育む
- ・ ウサギ小屋の環境の充実（日当たり面、エサ置き場 等）
- ・ 暑さ寒さ対策等、ぶどうの木周辺の整備
- ・ 動物愛護センターとの繋がりを継続し、セラピーの要素も含めた動物との関りの時間を定期的に作れるような企画を考える
- ・ 生き物の命の大切さを年齢ごとに学ぶ機会の創出
- ・ 新しい生き物の飼育を始める時は、飼い方、性質等学んでから始める
- ・ 動物達の体調管理
- ・ 委員会では、まとめた物を元に発表し内容を共有する時間を持つこと



## ⑨ ワクノビ・タスクチーム（平本施設長）

3年目に入ったワクノビ・クラブでは、コロナ対応が緩和されたことを受けて、施設の外へ出かけることを画策しました。その第1弾として、以前、三愛学園の評議員をされていた小野広明先生にアレンジをしていただき7月に近隣の埼玉工業大学で開催されているオープン・キャンパスに参加。小学校高学年～高校生の6名が、大学とはどんなところか、人の役に立つためにどのような学びが必要なのか、体験を通して学びました。



9月にはタイでの生活経験のある職員が言語や文化、生活の様子などを紹介する、という企画も実施しました。実際にタイに旅行をするだけの予算も体制もない中、子どもたちに国外の文化や生活に目を向けてもらう機会となりました。

トルストイの名作『くつやのマルチン』の絵本をスライドにして、メンバーの子どもたちがそれぞれの登場人物になってセリフを吹き込んだものを録画。クリスマス会の中で上映しました。全員が役割をもって参加し、視聴した人にも喜んでいただける体験となりました。

例年行っていた園内清掃や花植え、水やりは、熱中症アラートが続く夏の屋外の活動としては難しくなりました。活動のタイミングや場所など、次年度の検討課題です。

## ⑩ アフターケア・タスクチーム（高柳家庭支援専門相談員）

### 【成果】

- ・さんあいまつり後、第5回同窓会開催。卒園生、元職員等全49名参加。
- ・実家便申請、職員から手紙送付(対象卒園生3名)
- ・退所前個別アフターケア計画策定。今年度卒園した児童に対して、卒園後2年間のアフターケアとしての関わりを共有した。
- ・個別アフターケア。元担当職員、FSWを中心にアフターケアを実施。食事をしながら個別の状況を確認したり、今後についてのアドバイスを行うことができた。ケースによっては市町村とも連携を行った。

### 【課題】

- ・創立50周年に向けた同窓会の検討。
- ・個別アフターケアの継続。今年度卒園生はもちろん、各年代の卒園生に対しても、必要なアフターケアを実施。アフターケアの負担が偏りがちになってしまう傾向があるので、組織としての体制作りも検討。
- ・職員退職等に伴うアフターケア業務の引継ぎ。どの年代の卒園生に対してもアフターケアの関わりが途絶えないように配慮できる体制を意識する。



## 令和5年度事業報告

### ⑪ 危機管理タスクチーム（野田里親支援専門相談員）

子ども達の生活環境の危険にいち早く気づき改善することを目標に、ヒヤリハットの事案を報告書として提出、共有することで大きな事故を未然に防ぐべく全職員で取り組んでいます。タスクチームでは、提出されたヒヤリハットをもとに危険性のある環境や物の配置について意見を出し合い、それを職員全体にフィードバックすることで、子どもたちの安全な生活環境作りに取り組みました。

また、職員向けの園内学習会では警察の方から不審者対応について、薬剤師の方からは薬の正しい飲ませ方等を学びました。

子ども達への啓発活動としては、今年も希望児童を募って防災センターを訪問し、地震の怖さを体験を通して学びました。



### ⑫ 働き方改革タスクチーム（平本施設長）

今年度、あらたに設置された働き方改革タスクチームは、前年度の職員1日研修での議論を踏まえ、より長く勤務し続けられる職場環境を整備するために業務の効率化を検討することが与えられた課題です。他のタスクと重複しているメンバーが大半であったため、対面での話し合いは前期1回のみ、後半は持ち回りの会議となりました。職員の増員やPCなど機材環境の更新で改善を確認できた事項もある半面、実効性はまだ検討が必要な案もあるところ、次年度もタスクとして継続する予定です。

### ⑬ メンタルヘルス活動（平本施設長）

昨年度までは、タスクチームの活動としていた職員のメンタルヘルスについては、今年度は、運営会議の管理のもと、実施することとしました。職員からの要望、提案のあった活動について承認、実施しました。今年も温泉や東京の下町観光、ディズニーランド、蒲鉾体験などの企画が提案され、希望する職員がそれぞれ参加していました。



# 令和5年度事業報告

## ⑭ 防災訓練活動報告（野田里親支援専門相談員）

日時	避難訓練	訓練内容	消防署提出
4月22日(土)15:30～	●昼間避難訓練(心理室)	非常食の確認・消火訓練・通報訓練 自動通報装置登録電話番号修正(グンエイ)・懐中電灯点灯確認・防犯ベル動作確認	
5月20日(土)15:30～	●昼間避難訓練(オリーブ)	非常食の確認・消火訓練・通報訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	
6月17日(土)15:30～	●夜間想定訓練(ねむのき)	非常食の確認・消火訓練・通報訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	
7月15日(土)15:30～	●夜間想定訓練(かしのき)	非常食の確認・消火訓練・通報訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	
8月24日(木)15:30～	●総合避難訓練(事務室) ※グンエイ立ち合い2名	非常食の確認・消火訓練・通報訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認 ※放水訓練:消防隊員(立ち合い)	●
9月17日(日)15:30～	●昼間避難訓練(いちよう)	非常食の確認・消火訓練・通報訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	
10月21日(土)15:30～	●地震避難訓練(出火無) ※昼食に非常食を食す(50食分) (新たに50食分発注)	非常食の確認・消火訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	
11月18日(土)10:30～	●夜間想定訓練(もみのき)	非常食の確認・消火訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	
12月26日(水)15:30～	●夜間想定訓練(ぼぷら)	非常食の確認・消火訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	
1月20日(土)15:30～	●昼間避難訓練(ひのき)	非常食の確認・消火訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	
2月17日(日)15:30～	●昼間避難訓練(ファミリールーム)	非常食の確認・消火訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	●
3月16日(日)15:30～	●地震避難訓練(出火無)	非常食の確認・消火訓練 懐中電灯点灯確認・防犯ブザー動作確認	

\* 非常食は1食分を毎年食べ、その分を新たに購入。(消費期限が5年のもの)⇒現時点では3日分の食料を確保している。  
賞味期限の短い物は通常献立にて食し、新たに購入している。

## 7. 自立援助ホーム「三愛子ひつじ寮」総括

佐藤ホーム長

### 1. 在籍者数

令和6年3月31日時点での在籍数は、定員9名に対し5名（男子1名、女子4名。内一時保護委託数は2名）でした。令和5年度の新入居者は2名（児童養護施設からの入居者が1名、里親宅からが1名）。入居に際しては委託措置につながる可能性の高い利用者を優先し、緊急一時保護の受け入れは行いませんでした。退去者数は6名。退去理由は、家庭復帰2名、他施設への移動1名、専門学校進学のための自立1名、就職のための自立2名です。

### 2. 利用者の最善の利益の追求 ～安心安全な暮らしの提供～

利用者が安心して相談できる職員を目指し、アフターケアを見据えた信頼関係の構築に努めました。また良好な関係構築の仲介役となるべく、児童相談所、医療機関、就労先、学校等の支援機関とも連携しました。利用者個々の課題には、臨床心理士等の専門職による相談支援を行ないました。退所者とは定期的に連絡を取り、寮への里帰りを受け入れるなどして見守りを継続しています。助成金により全室にカーテン取り付け、洗濯機購入、道路のカーブミラー設置等、施設の環境整備を行なったほか、お菓子パーティを開催し余暇の充実にも努めました。



### 3. 職員にとって最善の職場環境の追求

法人と連携し外部講師によるスーパービジョンを2回実施し、ケースの見立てや支援方針の考え方を学びました。拡大会議により、自立援助ホームの意義を学び直し、対応困難者に対するマニュアル作成にも取り組んでいます。年休やりフレッシュ休暇の活用を推進し、病欠の際も職員間で協力し合い、チームとして働きやすい職場環境を整えました。職員確保を目的とした実習生受け入れのほか、職員の負担軽減のため宿直アルバイトを導入し、重点目標を達成することができました。



## 4. 財政

障害等を有する利用者の増加及び、自立支援担当職員の配置により措置費が加算されました。就労者でも、高校編入や大学・専門学校への進学を希望する利用者には外部の奨学金がつくことから、それらを利用する支援を行うことで本人の負担軽減につながりました。



## 5. 地域との連携

地域で行われる清掃活動には利用者と共に継続的に参加しています。登下校児を含む近隣住民へのあいさつ励行、自転車使用時の交通ルール遵守の徹底、夜間騒音への配慮等、地域生活のノウハウを利用者に教えることで、地域からも受け入れられるようになってきています。

## 6. 法人のサポート体制

毎月、運営会議を実施。宿直補助として本園から職員を派遣していただきました。拡大会議では、改めて自立援助ホームのあり方を検討し、処遇困難ケースの対応についてマニュアルを作成しました。本園で行う会議には理事長にも出席していただき、法人としての捉え方をふまえた支援方針を決めることができました。



# 令和5年度事業報告

## 8. 理事会・評議会開催の報告

令和5年度 理事会・評議委員会

令和5年6月8日	令和4年度 定例役員会	【議題】 1. 令和4年度事業報告の件 2. 令和4年度予算流用の件 3. 令和4年度収支決算報告の件 4. 監事による監査報告 5. 令和4年度資産総額変更の件 6. 役員報酬規程変更の件 7. 協議員選任解任委員会運営細則変更の件 8. 名誉園長選任の件 9. 評議員候補者の推薦について 10. 役員候補者の推薦について 11. 評議員会の招集の件 12. その他報告
令和5年6月23日	令和4年度 定時評議員会	【議題】 1. 令和4年度事業報告の件 2. 令和4年度収支決算報告の件 3. 監事監査報告 4. 財産目録承認の件 5. 役員報酬規程変更の件 6. 役員改選について 7. その他報告事項
令和5年6月23日	令和5年度 第1回役員会	【議題】 理事長選任の件
令和5年10月27日	令和5年度 第2回役員会	【議題】 1. 施設・設備整備積立金の取り崩しの件 2. 令和5年度第1回補正予算の件 3. 経理規程変更の件 4. その他報告事項
令和5年12月19日	令和5年度 第3回役員会	【議題】 1. 一時保護所オリーブ女子における不適切事案再発防止の取り組みの件
令和6年3月22日	令和5年度 第4回役員会	【議題】 1. 令和5年度補正予算案の件 2. 令和6年度事業計画案の件 3. 令和6年度収支予算案の件 4. 就業規則変更の件 5. 経理規程変更の件 6. その他報告事項

# 令和5年度事業報告

## 9. 「思いやり」の報告

さんあいの養育目標は「思いやりのある子」です。そしてその実践として、地域から国、そして世界の人々に対して私たちの支援の輪を広げることを標榜しています。令和5年度は、以下の支援をすることができました。感謝を持ってご報告いたします。

- 子どもたち、職員からのクリスマス献金 72,354 円を、国連の支援機関である WFP（国連世界食糧計画）の活動を支える日本の公式支援窓口である国連 WFP 協会に寄付いたしました。WFP は緊急時に人の命を救い、食料支援を活用して、紛争や災害、気候変動の影響を受けた人びとの支援を行っています。緊急支援活動では、ウクライナをはじめとした難民支援でも重要な役割を担っています。また、年始に発生した能登半島地震に対しても、園内で集めた募金 34,782 円を日本赤十字社に寄付をしました。

〒369-0212  
埼玉県深谷市  
権挽 15-2  
社会福祉法人三愛学園 児童養護施設さんあい 御中  
ご支援者番号： 0216425

平素より国連 WFP の活動にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、この度は国連 WFP へご寄付をいただき、誠にありがとうございます。お預かりいたしましたご寄付は、国連 WFP の食糧支援活動に大切に活用させていただきます。国連 WFP は、今後も様々な活動を通じて飢餓と貧困に苦しむ人びとの生命と自立を支えて参ります。

引き続き、国連 WFP にご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人  
国際連合世界食糧計画 WFP 協会  
会長 安藤宏基



©国連 WFP 協会



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move. 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

©日本赤十字社

# 令和5年度事業報告

## 10. 感謝の報告

今年度、下記の団体から助成金をいただきました。これ以外に児童個人に対する奨学金、金品のご寄付などたくさんのご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

団体・基金名	助成内容
公益財団法人葉田財団子どもの未来助成事業	厨房の冷蔵庫・冷凍庫の入れ替え事業
公益財団法人こどもの未来創造基金	児童のインターネットアクセス環境の改善事業



# 令和5年度事業報告

## 写真でみる令和5年度



登校練習（4月）



入園・入学を祝う会（4月）



さんあいレストラン（5月）



さんあいまつり（6月）



ストリート・バスケットボール教室（6月）



卒園生同窓会（6月）



ジャガイモの収穫（7月）



救命救急講習（7月）



七夕（7月）



熱中症アラート（7月）



園庭水遊び（7月）



第三者委員のお話（7月）



ガーデン・パーティー（7月）



ガーデン・パーティー（7月）



むさしの村ご招待（7月）



深谷まつり（7月）



くしびき夏祭り（8月）



男子子プール外出（8月）



特別部屋外出（8月）



埼児協・親善球技大会（8月）



避難・放水訓練（8月）



中高生GW「スイーツビュッフェ」(8月)



小学生GWデイ・キャンプ（9月）



深西GSみことば商店（9月）

# 令和5年度事業報告



さんあいセミナー「里親意見交換会」(10月)



小学生イルミネーション外出(10月)



幼児芋ほり(10月)



ハロウィーン(10月)



子どもの権利擁護タスク事例検討(11月)



幼児GWどんぐり拾い(11月)



職員1日研修(11月)



大掃除(12月)





クリスマスツリー点灯式 (12月)



クリスマス礼拝 (12月)



クリスマス祝会 (12月)



サンタルギーニ (12月)



第三者委員のお話し (12月)



ワクノビ・クラブ花植え (12月)



年始の挨拶とお年玉 (1月)



餅つき (1月)

# 令和5年度事業報告



書初め（1月）



節分（2月）



ビンゴ大会（2月）



雪の日（2月）



生教育 GP（3月）



卒園生の送り出し（3月）



卒園・卒業を祝う会（3月）



ジャガイモの植え（3月）

**令和5年度中の関係者のご支援と神様の恵みに感謝いたします！**

“あなたので欲しいことを、あなたの隣人にもしてあげなさい。”

(聖書)

児童養護施設は、保護者のいない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設とする。（児童福祉法 第 41 条）

**社会福祉法人三愛学園**

369-0212 埼玉県深谷市櫛挽 15-2

電話 048-585-0605

Fax 048-585-0562

[Web サイト] <https://san-ai-jidouyougo.org/>

